

平成24年6月能代市議会定例会

市長説明要旨

平成24年6月能代市議会定例会の開会に当たり、提出議案の説明に先立ち、その後の市政及び諸般の動きなど、その大要をご報告いたします。

はじめに、4月3日、4日の暴風による市内の被害状況についてであります。建物被害では、屋根トタン剥離等住家の一部破損16棟、非住家の全壊10棟となっております。

農業被害では、パイプハウス277棟、機械格納小屋2棟、農作物等ではハウレンソウと梨に被害があり、被害総額は3,991万3千円となっております。市では、県の農業生産施設復旧支援事業に対する嵩上げ助成や、被覆資材のみの被害復旧、廃プラスチックの処理に対する助成を行うとともに、農業者等の再生産を支援するため、暴風被害復旧支援資金の借入れに対し、県と協調して利子補給を行うこととしております。

市の施設においても、小中学校グラウンド防球ネットや能代市総合体育館の屋根等に被害があり、緊急に修繕等を行っております。

これらの被害については、予算の専決処分を行い対応しております。

次に、庁舎整備の検討状況についてであります。5月21日に開催された庁舎整備特別委員会で庁舎整備基本計画の素案を示し、今後、これを叩き台として基本計画案に仕上げていきたい旨を説明しました。その際、議員控室の考え方や駐車場規模、議事堂の扱い等について意見がありましたので、これらを整理したうえで、9月定例会に基本計画案を提示し、10月には、パブリックコメント及び市民説明会を開催したいと考えております。

庁舎整備スケジュールに大きくかわる、国の合併特例債の活用期限延長に関する法案は、今通常国会における成立が不透明な状況であることから、現段階としては、平成27年度中の事業完了を目指すスケジュールで作業を進めたいと考えております。

なお、現議事堂に関する「市長への手紙」が、これまでに3通寄せられ、将来負担等を考慮し議事堂は解体すべきとの意見が2通、建物を残し、市民が手軽に活用できる文化の場として、たまには開放してほしいとの意見が1通であります。

また、市内の音楽関係4団体の代表者で組織する「議事堂を愛し存続を願う会」及び能代市民合唱団から、議事堂を音楽ホール等の芸術文化施設として残してほしいとの要望書をいただいているほか、能代市役所新庁舎建設の是非を考える市民の会からも保存を求める文書が届けられております。今後、議会の意見等も伺ったうえで、要望に対する市の対応方針を示したいと考えております。

道の駅整備構想についてであります。本年3月末に能代商工会議所との連携のもと、関係団体等からなる能代市道の駅整備構想研究会を立ち上げ、これまで4回開催しております。

この研究会は、市による施設整備と民間による運営を想定しながら、広く施設の在り方等について意見交換を行い、行政と民間が共同で研究することを目的としております。

研究会での議論は、今後策定する道の駅整備に係る市の基本的な方針等に活かしてまいりたいと考えております。

バスケットの街づくりについてであります。平成24年度から能代市バスケットの街づくり推進計画がスタートし、計画を推進する拠点として、5月1日に能代バスケットミュージアムを開設しました。能代カップ期間中は、あいにくの天候にもかかわらず、県内外の方々から来館していただき、多くのマスコミにも取り上げられました。

また、能代工業高校バスケットボール部に対する地元産玄米の進呈、工業高校体育館開放による小学生バスケット体験事業への支援を行っております。

今後、推進組織の設置や市民チャレンジ事業補助金の創設により、バスケットの街づくりを更に推進してまいりたいと考えております。

宇宙航空研究開発機構（JAXA）能代ロケット実験場開設50周年記念事業及び銀河連邦交流25周年記念事業についてであります。9月8日、9日の2日間にわたる記念イベントの実施に向け、現在、市とJAXAが中心となって準備を進めているところであります。

事業としては、50周年記念式典・祝賀会の開催をはじめ、宇宙科学研究所教授による特別講演、能代ロケット実験場の特別公開、銀河連邦交流25周年を記念した子ども大使の招待や銀河連邦各共和国の物産展示販売、リニューアルオープン予定の子ども館での宇宙関連展示等を行う予定であります。

日本の宇宙推進エンジンの研究開発に重要な役割を果たしてきた能代ロケット実験場の功績に触れていただき、多くの皆様と一緒に50周年をお祝いしたいと考えております。

本市の特色あるまちづくりのひとつとして、「宇宙のまち能代」を広く市内外にPRしてまいります。

次に、国民健康保険事業についてであります。加入者の所得状況や医療費の動向、平成23年度の決算の状況等を踏まえ、今後3カ年の収支見通しを試算し、運営について検討しました。それにより、国民健康保険税を軽減することができると

判断し、税率の改定を行うこととしました。

改定内容につきましては、「のしろの国保」やホームページ、納税通知書の送付の際のチラシ等により周知に努めてまいります。

今後も健全な運営が出来るよう、引き続き特定健診等の保健事業の推進等による医療費の伸びの抑制や国民健康保険税の収納率向上、国、県の交付金等の歳入確保に努めてまいります。

次に、(仮称)イオン新能代ショッピングセンターについてであります。先日、イオングループのディベロッパー部門の責任者から、市に対して、2015年の開店を目途に、現在、関係機関と着工に向けた諸手続の事前協議に入っているとの報告がありました。

中心市街地活性化についてであります。市営住吉町住宅が完成し、4月1日から入居者268人の方々が、順次街なかでの新生活を始めているほか、風の松原陸上競技場も供用が開始されております。

また、能代駅前から畠町大通りにかけて、観光案内所、市民プラザ、のしろ木工品市場、チャレンジショップ、畠町新拠点、能代バスミュージアムの各施設等や、各種団体の皆様が連携し、集客交流が図られております。

今後も、ソフト事業及びハード事業への取組により、定住人口、交流人口の拡大を図りながら、中心市街地活性化ビジョンで掲げた将来像「元気実感 のしろ 街ぐらし」の実現に努めてまいります。

再生可能エネルギーの導入促進についてであります。5月31日、能代市新エネルギービジョン及び再生可能エネルギー導入促進基本方針に基づき、東北電力株式会社が募集する「自治体風力」に向けた公募を開始したところであります。

地元の企業等が主体となって行う再生可能エネルギー事業への取組は、本市の最重要課題であり、出資、助成金等による支援策について検討してまいりたいと考えております。

観光振興についてであります。特定非営利活動法人能代観光協会では、4月23日、JR能代駅前に観光案内所を開設しました。今後、能代周辺や白神山地を訪れる観光客等に、地域の魅力や観光資源を発信する新たな拠点となることを期待しております。

また、市では、来たるべきデスティネーションキャンペーン等に向け、能代観光協会、二ツ井町観光協会及びJR等と連携し、風の松原、きみまち阪、旧金勇等の

観光資源を活かした、体験型及び着地型旅行の企画等への取組も始めております。  
県内外から多くの方々に、能代市へ来訪していただけるよう努めてまいります。

第135回秋田県種苗交換会についてであります。10月31日から11月6日までの7日間の日程で開催されることとなりました。5月18日には能代市協賛会が設立され、能代市総合体育館を主会場として農産物出品展示等を行い、協賛第1会場となる総合体育館前の駐車場では能代山本地域PRブースの設置や農工商フェア、協賛第2会場となるアリナス駐車場周辺では物産販売展、農業機械化ショー等を開催することなどが承認されました。

さらに、旧金勇を中心とした中心市街地を協賛第3会場と位置付け、市街地の賑わい創出イベントや夜間のイベント等を企画して、種苗交換会に来場される大勢の方々を中心市街地へ誘客する取組にも努めることとしております。

市としましても、協賛会と連携の上、多くの方々が本市を訪れるこの機会を捉え、能代山本の魅力を積極的にPRするとともに、地域農業の発展と中心市街地の賑わい創出につながる取組を進めてまいります。

次に、市営松山町・万町住宅建替事業についてであります。平成23年度に建替基本計画策定及び事業手法検討調査を実施し検討したところ、松山町住宅については、松原ホームの敷地を含む現在地に直接建設方式で木造30戸を整備することとしました。24年度に既存住宅の解体、基本設計等、25年度は実施設計を行い、26年度には工事着手したいと考えております。

また、万町住宅については、現在、県で実施している地震被害想定調査の結果いかんでは、再度、構造及び階数について検討しなければならないと考えております。

次に、市道ふたつ白神郷土の森線の通行止めについてであります。当該道路は、冬期間全面通行止めにしており、例年4月下旬に除雪作業を行って解除しております。今年の除雪作業において、起点から約5.5キロメートル付近で2箇所の路肩決壊と落石が見つかり、危険なことから引き続き通行止めとすることとしました。

今後、測量等の調査結果を踏まえ、復旧方法等について検討してまいります。

次に、単行議案の主なものをご説明いたします。

能代市印鑑条例及び能代市手数料条例の一部改正は、住民基本台帳法の一部改正等に伴い、関係条文を整備しようとするものであります。

能代市へき地保育所条例の一部改正は、竹生保育所、常盤保育所及び福田保育所を廃止しようとするものであります。

能代市国民健康保険税条例の一部改正は、税率を改定するとともに、地方税法等の一部改正に伴い、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例を規定しようとするものであります。

能代市立学校条例の一部改正は、能代市立能代商業高等学校を廃止しようとするものであります。

能代市公民館条例等の一部改正並びに能代市技術開発センター条例及び能代市木の学校条例の一部改正は、施設の管理を指定管理者に行わせることができるようにしようとするものであります。

このほか、字の区域の変更、秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更並びに市道路線の認定及び廃止について提出しております。

次に、平成24年度能代市一般会計補正予算案の概要をご説明いたします。

この度の補正予算は、これまでに国、県から内示等を受けた事業について所要額を計上したほか、市単独事業については、当面緊急を要するものについて補正しております。

まず、歳入の主なものとしては、社会資本整備総合交付金、保育所整備等特別対策事業費補助金、マツ林健全化整備事業費補助金、公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業費補助金、財政調整基金繰入金、コミュニティ助成事業助成金、市営住宅建替事業債の追加等であります。

次に、歳出の主なものについてご説明いたします。

総務費においては、コミュニティ助成事業費1,500万円、二ツ井町庁舎管理費2,961万1千円等を計上しております。

民生費においては、保育所等施設整備費補助金2,671万8千円等を計上しております。

農林水産業費においては、あきたを元気に！農業夢プラン実現事業費補助金918万8千円等を計上しております。

商工費においては、公共施設再生可能エネルギー等導入推進事業費7,984万2千円を計上しております。

土木費においては、市営松山町住宅建替事業費3,655万1千円等を計上しております。

消防費においては、簡易水道消火栓移設事業費121万8千円を計上しております。

教育費においては、いのちの教育あったかエリア事業費119万9千円等を計上しております。

以上、一般会計補正予算案の概要を申し上げましたが、補正額は2億3,280万円となり、これを既定予算に加えますと一般会計の総額は247億2,616万円となります。

このほか、平成24年度各特別会計補正予算案につきましては、提案の際、詳細に説明いたしますので省略させていただきます。

また、承認案件として、専決処分した平成23年度能代市下水道事業特別会計補正予算、平成23年度能代市一般会計補正予算及び平成23年度介護保険特別会計補正予算並びに専決処分した能代市市税条例の一部改正及び平成24年度一般会計補正予算2件を提出しております。

なお、物品の取得及び常盤財産区管理委員の選任については、後日追加提案させていただく予定であります。

以上、よろしくご審議のうえ、適切にご決定を賜りますようお願い申し上げます。